

神奈川県社保協ニュース

神奈川県社会保障推進協議会 【NO. 22-3】 2022年9月5日発行
横浜市中区桜木町3-9 平和と労働会館6F TEL045-201-3900 FAX045-212-5745

75歳以上医療費2倍化中止・ 延期の陳情、3議員が賛成！！

後期高齢者医療 神奈川県広域連合議会

9月2日、かながわ労働プラザで、後期高齢者医療神奈川県広域連合議会が開催されました。傍聴は、県社保協からの参加者など全体で20人ほどでした。広域連合議会は、3月末とこの時期の2回開催され、今議会は、2021年度決算の認定をしました。

2021年度の特別会計の決算収支差引き残額は、211億1620万円となり、国への変換などの精算額170億8770万円を除き、40億2850万円を基金に積み立てる予定。2021年度の被保険者は117万6千人（前年度比+1.5%）、一人当たり医療費874,501円（前年度比+4.2%）でした。一人当たり医療費は、2020年度が前年度比▲4.8%で、2019年度の水準に達していません。

75歳以上の医療費2割化反対神奈川県実行委員会名で、①「10月からの後期高齢者医療の窓口負担2割に引き上げる改正法の実施の中止または延期を求める意見書提出の陳情」、全日本年金者組合神奈川県本部名で、②「後期高齢者医療の健康診査の健診項目に、聴力検査を加えることを求める意見書提出の陳情」を提出しました。

本会議では①の陳情について、花上喜代志議員（横浜市・立憲民主党）が、「窓口負担見直しに対し、どのような声が届いているか」、「高齢者の受診控えの恐れがある」、「国の負担をさらに求めるべきではないか」と広域連合の姿勢を追及しました。白井正子議員（横浜市・日本共産党）は、「10月実施が強行されようとしているが、国への2割化中止を求める請願署名運動は県内で大きくなっている」、「10月から使用する保険証は、広域連合からは、現時点で発送されていない」、「中止または延期を求める国への意見書提出は可能」と、採択を主張しました。

本会議の採択では、花上喜代志議員と白井正子議員、梶尾明議員（横浜市・立憲民主党）が①の陳情に賛成しました。不採択になったとは言え、3人の議員が陳情に賛成したのは、前議会に引き続いて画期的なことです。②の陳情については、白井正子議員と中村一夫議員（大和市・自民党）が賛成しました。大和市議会は2021年3月議会で加齢性難聴者の補聴器購入に公的助成を求める陳情書（年金者組合提出）が全会一致で採択されましたそのことが反映したと受け止めています。この採択結果は、この間の運動の広がりが結実していると確信できます。



白井議員（左から5人目）と傍聴参加者

神奈川県広域連合議会の議員定数は20人。2022年度は、横浜市7人、川崎市3人、横須賀市1人、相模原市1人、残り8人はブロック分けて選出（2022年度は鎌倉市・藤沢市・平塚市・小田原市・厚木市・大和市・開成町・湯河原町）。会派別では、横浜市が自民2、立憲2、公明2、共産1。川崎市が自民1、公明1、みらい1。その他は議会の議長が副議長で、自民2、公明2、保守系会派3、革新系会派1、無所属2。1年で改選し、2022年度は3人を除いて入れ替わっています。

事業主に傷病見舞金！！

相模原市は、事業者に対して、コロナ罹患による傷病見舞金（7万円）の支給を9月議会に提出することを発表しました。

実現すれば、県内初、全国の政令市でも初となります。

相模原市

子ども医療費助成中卒まで制限なし！！

横浜市の山中市長が公約として掲げる“3つのゼロ”（「出産費用ゼロ」「子どもの医療費ゼロ」「敬老パス自己負担ゼロ」）のうち、子どもの医療費無料化を中学卒まで制限なしにする提案を9月議会に出すことを発表（現行制度は一部負担金と所得制限がある）。実現すれば全国の政令市で3番目。

横浜市

参加者 15 人、横断幕をかけた宣伝・署名行動!!

茅ヶ崎社保協

8月23日、県社保協から「年金が減らされ、10月から医療費負担増は困ります、75歳医療費の窓口負担2倍化やめて!」の大きな横断幕が送られてきました。早速、8月25日の15時~16時までの社保協宣伝に活用し、15人の参加者で105セットのチラシを配布し、宣伝・署名を行いました。「介護署名」が10筆、「年金署名」8筆、「憲法改定NO!署名」が1筆集まりました。

3人の弁護士が「物価高騰の中、年金を減らして75歳以上の窓口医療費2倍化はやめてほしい」と述べ、マクロ経済スライドの廃止や最低保障年金制度の創設で減らない年金制度を訴えました。2023年の通常国会に向け介護保険法の見直しの検討が進行中です。介護利用料の2割・3割負担の拡大、要介護1、2の介護保険外しやケアプランの有料化など、負担増と給付削減の提案にNOの声を上げ、介護保険制度の改善署名を訴えました。

時事問題の安倍元首相の国葬や「統一教会」と自民党との関わり、軍拡と憲法改定NOの訴えも行き、当面、大きくて目立つこの「横断幕」を毎回活用したいと思います。<茅ヶ崎社保協・齋藤和夫事務局長より>



「2割化中止署名」26筆「介護署名」25筆!!

平塚地域社保協

8月24日、平塚地域社保協は、中央社保協から送られた「年金が減らされ、10月から医療費負担増は困ります、75歳医療費の窓口負担2倍化やめて!」の大きな横断幕を活用して、平塚駅前で行った宣伝署名行動しました。

参加者10人でチラシ付きポケットティッシュを配り、75歳医療費の窓口負担2倍化の中止と介護保険制度の改善をやめるよう宣伝しました。「年金が下がって今度はこれか(2倍化)、これではたまらん」、などの声が寄せられました。一時間の宣伝行動で、「75歳医療費の窓口負担2倍化中止署名」26筆、「介護制度の改善を求める署名」25筆を集約しました。

<平塚地域社保協・原昭二会長より>



原則的な社保協活動をすすめる!!

横須賀市社保協総会

8月28日、横須賀市社保協第24回総会が開催されました。7月に開催予定が延び延びになったこともあり、会場6人、ZOOM5人の11人の参加となりました。

総会は、茅ヶ崎社保協の齋藤和夫事務局長より、「地域社保協の取り組み」を話していただきました。齋藤さんは、①幹事会の毎月定例開催、②毎月の宣伝・署名行動は必ず実施し、③医療保険や介護などの学習会、④茅ヶ崎市に対する要請・交渉を実施していることを報告。なかでも、運動をすすめる上で、確信を持つための学習



会の重要性を強調しました。また、社保協の役員が高齢化し、車での送り迎えなどの苦勞が話されました。総会の参加者から、「宣伝行動の定例化が必要」、「学習会を開催しよう」などの声が出されました。

齋藤事務局長が「2021年度の活動総括」と、学習、宣伝・署名行動、対市要求活動、幹事会の定例化などの「2022年度の活動の方針」を提案。参加組織からの活動報告と討論がされ、議案と新役員を確認しました。

最後に、秋に提出する横須賀市に対する要求項目について論議し、加齢性難聴による補聴器購入助成、聴力検査を健康診査項目に入れるよう国に要請するなどの追加項目を確認しました。

10. 19 横浜地裁判決、1 万筆の署名集めよう！！

「神奈川生存権裁判支援する会」は、8月10日に、たくさんのみなさんから集めていただいた「公正判決を求める請願署名」1000筆を携えて、第4回目の署名提出に臨みました。原告代表2名、港南区生健会の会員、神生連の常任理事、県社保協から同席いただき、「裁判長に強く伝えてください」と直接の訴えを行いました。

請願署名はこの日までに累計9000筆に達し、10月19日地裁判決を間近に控え、「出来ることはやり尽くそう」と9月はさらに、「原告から裁判長への手紙」を手渡す行動を準備しています。

署名提出の後は、恒例の地裁前宣伝、27人が参加しました。この間お亡くなりになった田代武敏さんという原告を偲び、「勝訴」を届ける決意を誓い合いました。

マイク宣伝も初めの頃は、理不尽な国に対する怒りが溢れていたのですが、京都・金沢両地裁判決の「コピペ」疑惑以降は、「横浜地裁は、よもやそんな真似はしないであろうが」的な、司法の独立のために共に闘おうトーンに替えることで、必ず勝利を呼び込もうと奮闘しています。請願署名は、9700筆に達し、目標の1万筆にもう一息です。〈神奈川県生健会・峯松幹事務局長より〉

神奈川生存権裁判



県民要求連絡会、神奈川県への要求提出交渉実施！！

8月22日、県民要求連絡会として、完全オンラインで神奈川県に要求提出交渉をしました。神奈川県との一斉交渉は、11月上旬～中旬に行われ、要求への回答は10月下旬の予定です。

県社保協として、「保険・医療・介護」分野を提出し、①医療・介護・福祉の提供体制維持などの対策について、②地域医療構想について、③医療費助成制度の改善について、④介護保険制度の改善について、⑤国民健康保険の改善について、⑥後期高齢者医療制度の改善についてに加えて、⑦後期高齢者の難聴対策、補聴器助成について以下の要求を入れました。



- (1) 労働安全衛生法では、特定健診の検査項目に視力・聴力検査が入っていますが、高齢者医療確保法の健康診査項目には入っていません。そのため、加齢性難聴にもかかわらず、気づくことが困難になっています。医学的にも、難聴が認知症や高齢者の引きこもりに影響があることが通説となっています。高齢者医療確保法に基づく健康診査項目に聴力検査を入れるよう国に要請してください。
- (2) 補聴器を付けることが、介護予防、認知症予防に医学的な効果があると伺っています。いま、全国で加齢性難聴による補聴器助成を求める運動が広がり、神奈川県でも厚木市、清川村に続いて、相模原市、愛川町でも助成事業がはじまりました。神奈川県として、市町村の助成事業を支援し、県としても補助金制度を創設してください。

揚妻さん、お疲れ様でした！！

8月5日に、揚妻事務局次長が退任しました。5年と2カ月活躍されました。ありがとうございました。後任は、藤井英次さんです。以下は揚妻さんのあいさつです。

この度、8月5日を持ちまして退職いたしました。在職中は皆様方大変お世話になりました。心よりお礼を申し上げます。社保協での5年間は多くの人達との出会いと繋がりが持つことができました。井の中の蛙が少し世間を見る視野を広くさせて頂きました。また、運動には人と人との横のつながりがいかに大切か再確認できたことが私の宝物となりました。

だれもが安心してらせる豊かな社会づくりに奮闘する社保協の皆様へ今後も元気で活動が続けられますようお祈りいたします。私も微力ながら新天地で頑張ります。ありがとうございました。





20221028 消費税ネット学習会

物価高騰が国民の暮らしを直撃し、消費税減税の声が広がっています。しかし、岸田首相は社会保障財源の確保を理由に応じる姿勢はありません。

2012年「改正」で消費税法に「年金・医療及び介護の社会保障給付……に要する経費に充てるものとする」の条文が入りました。しかし、消費税が増税されても国民負担(社会保障料など)は増えるばかり。「ほんとうはどうなの?」と疑問がふくらみます。

そこで「消費税は社会保障に使われているか?」「社会保障を支える財源はどうなっているか?」、消費税研究専門の湖東京至税理士を講師にデータを基に税率が高い北欧などの事例も紹介していただき、消費税と社会保障の関係を考えます。ぜひ、ご参加ください。

【講師】
税理士 湖東 京至 氏
・元 静岡大学教授
・不公平税制をたす会代表委員

テーマ

「検証！消費税は 社会保障に使われているか？」

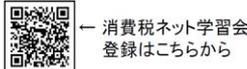
とき 10月28日(金)18時30分から20時
ところ 神奈川県保険医協会・Web併用
※会場…定員40名

(主催 消費税を含めた税のあり方を考えるネットワーク)



◆会場参加をご希望の方(※各線横浜駅より徒歩5分)
下記事務局へご連絡ください。

◆Web視聴をご希望の方
右記QRコードからお申込みいただくか、
下記短縮URLよりお申込みください。
【短縮URL】
<https://bit.ly/3TyHC16>



— 消費税ネット学習会
登録はこちらから

【お問合せ】 ※団体に所属の方は、各所属団体へご連絡ください。
消費税を含めた税のあり方を考えるネットワーク 事務局(神奈川県保険医協会内)
TEL 045-313-2111

2022年(第20回)全国介護学習交流集会 変えよう!人を大切にする制度へ ～利用者・家族の人権保障、介護労働に正当な評価を～

介護保険スタートから22年、「介護の社会化」、「自己選択と決定の介護保険」とうたわれて始まった制度は、相次ぐサービスの削減と利用料引き上げで、必要な介護サービスを受けることがおぼつかないものになりつつあります。介護を必要とする人と家族、事業者、どの立場でも、一刻も早く立て直さねば介護が崩壊してしまうというのが共通の実感となっています。にもかかわらず政府は、次期改定で、さらなる悪悪を予定しています。

「老後不安社会」からの転換をめざし、政府の介護制度見直し(改善)の内容をつかみ、憲法にもとづく介護保障の実現、介護労働が正当に評価される社会にむけ決起の場となる学習交流集会にします。

日時 2022.10/30日 11:00～15:55(開場10:30予定)

●講演Ⅰ 介護労働の専門性について考える
篠崎良勝さん 聖隷クリスティー大学准教授
雑誌「かいご学校」初代編集長。介護職の専門性を具体的に「見える化」から「見える化」し、より良い雇用や地位の向上に貢献する介護教育者。1969年生まれ茨城県出身、筑波大学大学院卒。著書に「介護労働入門—ケアハラスメントの実態を通して」「どこまで許される?ホームヘルパーの医療行為」(いずれも一橋出版)など

●講演Ⅱ 次期改定に向けた介護保険部会の動き
花俣ふみ代さん
公益社団法人 認知症の人と家族の会・副代表兼埼玉県支部代表
厚労省社会保障審議会介護保険部会委員

●中央社保協 介護保険制度の抜本改革提言(案)
●運動交流/参加者からの発言/行動提起/集会宣言など

参加無料
配信あり!

会場 平和と労働センター・全労連会館2階ホールなど
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 TEL 03-5842-5610
最寄り駅 JR「御茶ノ水駅・千代田線」新御茶ノ水駅・丸ノ内線「御茶ノ水駅(徒歩8分)

オンライン参加は以下のQRコード、URLから

Zoom ウェビナー
<https://onl.sc/jahVixc>

YouTube
<https://onl.sc/db83US1>

※Zoomは事前登録制です。登録したメールアドレスに案内メールが送られます。
※会場参加の定員は2階ホール130人程度です(他に2会場20人、3会場20人)。
※またコロナ感染拡大状況によって完全オンラインになる場合があります。中央社保協OHPで
お知らせしますので参加前にご確認ください。

主催「2022年全国介護学習交流集会実行委員会(事務局:中央社保協、全日本医連、全労連)
連絡先:全労連介護・ヘルパーネット 文京区湯島2-4-4全労連会館4階 TEL 03-5842-5611

《9月の主な行動・会議日程》

- 9月6日(火) 県社保協介護保険改善委員会 15:00ZOOM 会議
介護のつどい実行委員会 16:00ZOOM 会議
- 9月7日(水) 全県一斉宣伝行動西湘地域(海コース)キャラバン 8:50 建設プラザ
中央社保協運営委員会&介護・障碍部会 10:30 医療労働会館+ (ZOOM)
中央社会保障学校実行委員会 17:00 ZOOM 会議
- 9月8日(木) 75歳以上医療費2倍化中止求める宣伝行動 14:00 伊勢佐木町有隣堂前
- 9月9日(金) ケア労働者の組織化に向けた相談会 10:00 平和と労働会館 7F
県社保協第3回幹事会 14:00 建設プラザ 4F 会議室+ (ZOOM)
- 9月11日(日) 沖縄知事選投票日
神奈川労連定期大会 10:00 かながわ県民ホール
- 9月12日(月) 日本高齢期運動連絡会事務局会議 10:00 日高連会議室
- 9月14日(水) 高齢期運動連絡会幹事会 14:00 建設労連 3F 会議室+ (ZOOM)
- 9月15日(木) 全県一斉宣伝行動西湘地域(山コース)キャラバン 8:50 建設プラザ
ケア労働者の処遇改善調査結果の記者会見(時間未定)
- 9月16日(金) 神奈川生存権裁判を支援する会事務局会議 10:00 平和と労働会館 7F
県民要求連絡会事務局団体会議 14:00 県職労連会議室+ (ZOOM)
- 9月17日(土) 中央社保学校 from 千葉 13:00～16:30 完全オンライン
- 9月18日(日) 中央社保学校 from 千葉 9:30～16:00 完全オンライン
- 9月19日(月) さよなら戦争さよなら原発 9.19 大集会 13:30 代々木公園野外ステージ
- 9月21日(水) 75歳以上医療費2倍化中止署名提出行動 13:30 参議院議員会館 B108+オンライン
- 9月26日(月) 安倍元首相の国葬反対宣伝行動 8:00 桜木町駅前
- 9月28日(水) 中央社保協関東甲ブロック会議 13:30 ZOOM 会議
- 9月29日(木) 75歳以上医療費2倍化中止求める宣伝行動 11:00 伊勢佐木町有隣堂前
- 9月30日(金) 消費税ネット世話人会・事務局会議 18:30 保険医協会会議室+ (ZOOM)
- 10月1日(土) 最低賃金1500円を求める宣伝行動 13:30 桜木町駅前
75歳以上医療費2倍化中止求める中央集会・デモ(時間・会場未定)